十體千字文繪抄

全

ヨ-43,54

Jittai Senjimon Esho

十體千字文繪抄序

夫千字文者上達之楷梯積學之基本也雖往挾此書而蠻夷外鄙其用足矣蓋李邏考註雖翫於世蒙幼或倦眞字佶屈故予自畫厥圖贊厥心曉童子之愚意而耳

元祿五歲壬申九月上澣日

中村甚丞榮成序

千字文　千字文はじめ〜梁の武帝の代に大夫陸籍という人千字文をつくりて天子に奏し帝これをよろこびたまひて後梁宋代文帝に逆れて丹陽にゆきそこの字文車の中にありたにて大雨にあひ車の中にありてこの字文をひろひ丹陽にゆきこれを書医の中にくばる宋代文皇帝天下を治たまひしとき書帝代書庫をひらきて書をとりに命じて決定王羲之に命じて韻をつぐしめ梁の武帝にこれをつぐめそ千字文なり

天地

日月　日は陽の精なり　月は陰の精なり　東は春なり　西は秋なり　春は木の陽なり　秋は金の陽なり

日

天　天のくらいまろし　地　地のくらいこちは四角なり　方六千余里あつさ天とひとしきん

玄　天の色は玄し　日月くらし　方あとてくらし　黄　地の色は黄なり　中央なり

地埴壓凹坐禮坎陸地

宇　天くく方あとなりの　宙　昔はとぎなり　今はなり

聖令玄黄黄令玄聖黄令玄聖

洪荒　洪は大なることをいう　荒はひろくひろにして極なきなり　かんは倫なり

月令皇令月令皇令月令皇

月

辰宿 北辰ハ少微ヲ極トスル天極トモイフ二十八宿ニ東ハ角亢氐房心尾箕斗ヨリ南ニ女虛危室壁奎ヨリ西ニ婁胃昴畢觜參井鬼柳星張翼軫ヨリ

北辰

日 日中ニ烏アリ故ニ金烏トイフ

月 月中ニ兎アリ故ニ玉兎トイフ

洪濛濛鴻洪洪 蒙蒙蒙蒙蒙

盈昃 日中スルトキハ昃レ月モ十分ニヨロヒハ虧ル也

日 ⊖ ⊖ ⊖ ⊖ 日 日 月 月 月 月

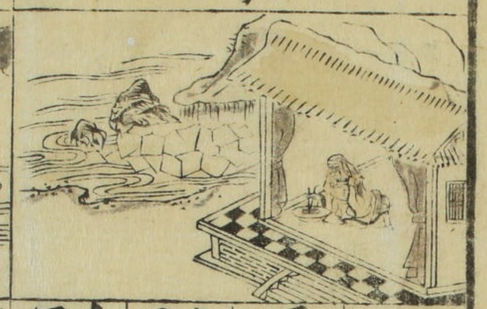
辰宿列張 辰ハ北辰ヲイフ宿ハ二十八宿ヲ四方ニ各七宿アリ東ヲ蒼龍南ヲ朱雀西ヲ白虎北ヲ玄武トイヒテ天帝ヲ護ル

月月 盈盈 昃昃 盈盈 昃昃

月月 盈盈 昃昃 盈盈 昃昃

辰宿 辰辰 宿宿 列列 張張

寒



暑

寒來暑往 ヒヤケバ暑ニナリ暑ケレバヒヤケニナリ

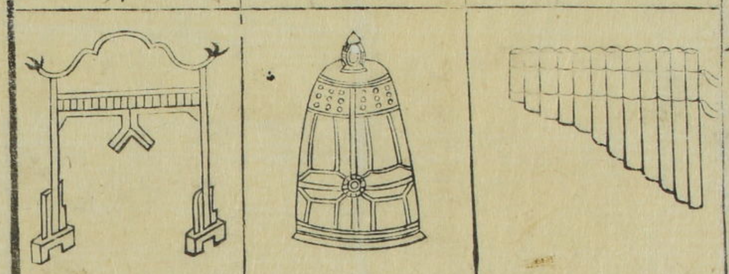
辰宿 辰辰 宿宿 列列 張張

列列 張張 辰辰 宿宿

秋收冬藏 春ハ暖ニシテ風氣溫和ナリ夏ハ暑ケレトモ風氣ヨワシ秋ハ白藏トシテ風氣ヨワシ冬ハ寒ケレトモ風氣ヨワシ故ニ春秋トシテ夏ヲ冬ニ閉藏ス

閏餘成歲 寒來暑往 秋收冬藏 寒來暑往 秋收冬藏

十二律　金　石



十二律ハ音と羽ゝり八ハ宮商角徵羽ゝり八ハ金石絲竹匏土革木の八つをていふなり

潤餘成歲一年三百六十有六日ハ春夏秋冬の四時と五月のあまりをもつて

生秋蟄蟄蟄妹社收弦蟄收

春夏秋冬の四時と五月のあまりをもつて歲とのこる閏月を

收冬藏蟄蟄蟄蟄蟄藏

月に閏く閏と名付て歲とのこる閏月を

藏閏閏閏閏餘餘餘餘

黃鐘大蔟姑洗蕤賓則亟射これをもつて六呂ハ林鐘中呂南呂應鐘夾鐘大呂これを六律と

餘餘成成戌戌蟄成成歲歲歲

絲　竹　匏

雲騰致雨雨ハ陽の用ゆゑ雲ハ陰の用ゆゑ雲ハ陽の用ゆゑ

蟄蟄蟄歲歲律律律律律呂呂呂呂呂

れば雨ふる故ゆゑに日雲行雨施と易に云ふ雨ハ雲ハ

呂呂呂調調調調調調調陽陽陽

雨といのまことにもつぱらこれ湯王の業を厥上につて四方の人を付をもつて坐しゆゑにもつぱら紀綱下

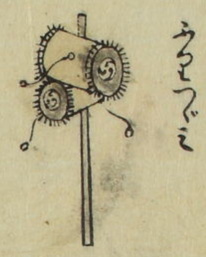
易蟄陽陽雲雲雲雲雲雲

露結爲霜霜ハ草木の花をもつて結ぶこと

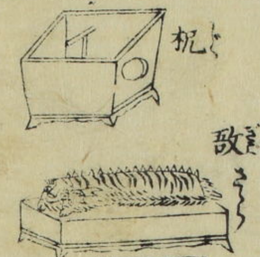
騰騰騰騰騰騰騰騰騰騰致致蟄蟄蟄致致雨

土

革



木



金生麗水 麗水ハ水の名なり古ハ麗水より金出たりてせーてそのよたうづ出ハ今ハ金にとく わりたはいハ益州永昌郡のゆにあり

玉出崑崗 楚の崑崗の谷の中より美玉つゞひ〜下和とそ

結結結結弦 結結結結弦ハ麗器なり

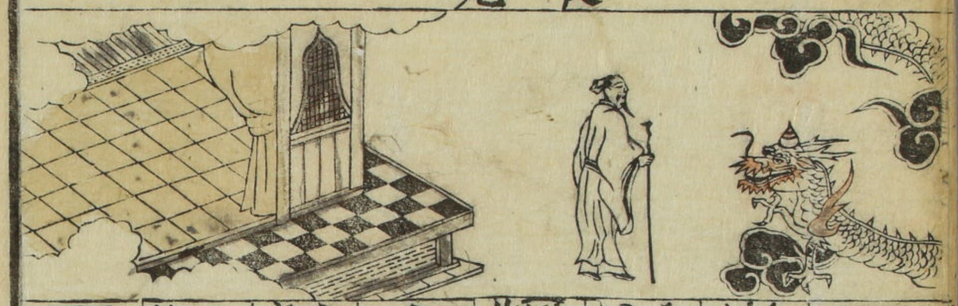
霜霜霜霜霜 霜霜霜霜霜ハ金なり 文王ゆ〜ゆ〜下和を楚の武王の代にみそよろ武王 ゆ〜ゆ〜ゆ〜

露　金　玉

菓珍李柰　蕪乃豆豊うのへにのさもろこしのりその大さ

多號號號

夜光



龍師火帝 [illegible]

泰禮海海 [illegible] 鹹 [illegible] 河

[illegible]

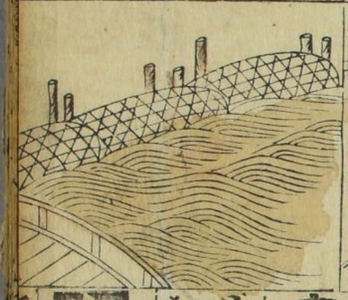
鳥官人皇 伏羲のときなりて [illegible]

鯨魚 [illegible] 潛 [illegible] 潛 [illegible] 羽

三皇五帝 天皇氏天下を治めること三万三千歳 地皇氏八万歳人皇氏八万歳天下を治む

羽翔翼翼翔翔 [illegible] 龍 [illegible]

李柰　海　河



始制文字 [illegible] 右には文字なく繩を [illegible] むすんで文字のことせり

龍龍社師 師[illegible]師 [illegible]師 火

黄帝天下をたさめひしゝとき蒼頡といつ [illegible] 文字を始めてつくれり

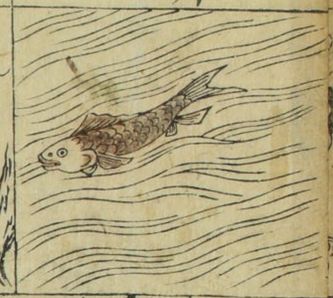
[illegible]火帝 [illegible]帝 [illegible]帝 鳥 [illegible]

服衣裳 [illegible] 右には麻絲なくして [illegible] 黄帝

[illegible]官 [illegible]官 [illegible]官

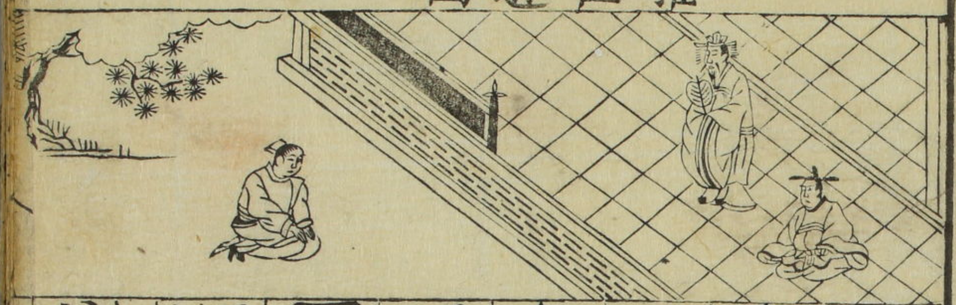
[illegible] 人 [illegible] 皇 [illegible]

鱗　羽翔　伏羲



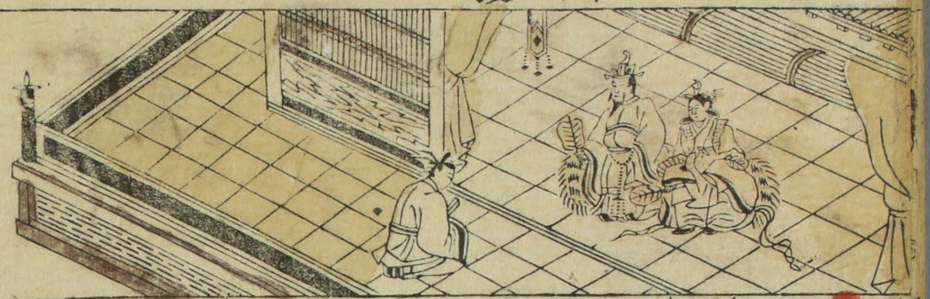
推位遜國有虞陶唐
皇始縮詰囂始如制新彩
彩制文文闇文文字闇
字乃乃厖乃乃服服服服
服衣衣衣衣裳裳裳裳

推位遜國



甲民伐罪弔民伐罪
裳推縫縫縫縫縫縫位位位
めぐることをいふなり周發殷湯殷の紂王
位位讓讓讓讓讓國國國
民をつとめたる后妃をあり〳〵國殷をふる周武
王紂の惡をたすけ〳〵紂王をとゝ〳〵へついにころしのふ
國國有有有有有有有有
夏の桀王をたすけて民をとゝぐまた殷の湯王は桀
を伐て君の惡をたすけて民をとゝぐまた殷の湯王は桀
虞虞虞虞陶陶陶陶陶陶

周發



坐朝問道 天子坐したまひて朝にさ国よおいてたまひのみち

蕃醫唐老 周武王王室平民

ひと〳〵漢の文帝法令をもて老子の言を説しひ河上
ひと〳〵老子の義を曉とるをもてこれを河上とうつよ

民苦戎狄 伐戎疆伐

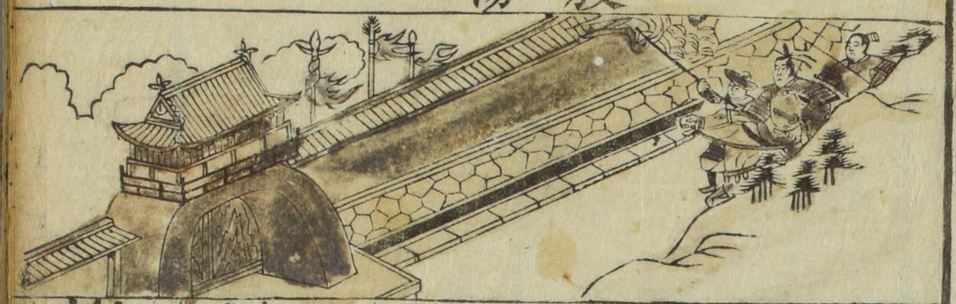
うつてこれを征ハ苦しむ〳〵ものどもをすくはんとて帝
自ら茅茨庵にゆきたまひて河上公にたずねとひたまふ

伐罪皇皇 周思皇皇

垂拱平章 天子衣裳を垂てたまふ
ぬきを百性を平に和げたまふ

周周發 發發發發 殷殷

殷湯



愛育黎首 愛育ハめぐみそだてたまふ黎首ハ百性をさすなり

殷殷湯湯 湯湯湯湯 聖聖

周の文王死んの骨をとりこまひて葬 衣服をさりのに
帝をあつ〳〵食をひらひて粟を給ふ

坐朝問道 朝朝朝朝 問問問問

臣伏戎羌 戎羌ハ西の夷 臣伏ハ服したがふ
ちからをもて武王の代に来り臣伏候

遵道遵道 遵遵遵遵 遵遵遵遵

乃一国をこうぶ故に太公を謀ず候ことをこうにて
作りて武王に対さうめされ候自ずてはたらく

聲教聲教 聲聲聲聲 拱拱拱拱

千字文上

愛育

鳴鳳在竹 鳳ハ竹ニ居テ聲人ノ仁徳ニ感ズルトイフ

禽獸在林 鳥ハ林ニ居テ獸ハ林ニ居ルトイフ

畏敬文彬 畏ハ敬ヲ文ハ彬ヲ

手足ノ禮ヲ正シクスレバ敬ニ成リ文ハ彬ニ成リ

虽ハ蛇ノ毒ノ有ルトイフ

雖逝而難忘 逝ハ去ル也

雖ハ去ルトイフ

書露夜光 露ハ夜ノ光ヲ

書ハ露ノ如ク夜ノ光ヲ

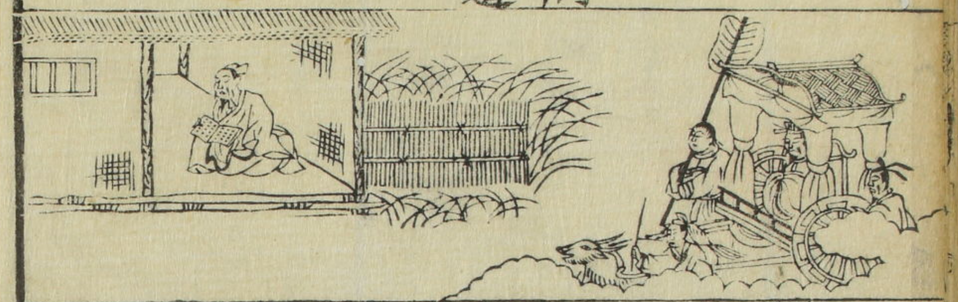
白駒食場 場ハ駒ノ居ル所ヲ

駒ハ馬ノ子ヲ

傘蓋率賓 蓋ハ傘ノ如ク賓ヲ率ル

傘ハ蓋ノ如ク賓ヲ率ル

問道



遐邇壹体率賓歸王

遐邇ハ遠ク近ク壹ハ一ニ体ハ体ヲ率ハ率ル賓ハ賓客王ハ天下ノ王ヲ

遐邇ハ遠ク近ク壹ハ一ニ体ハ体ヲ率ハ率ル賓ハ賓客王ハ天下ノ王ヲ

鳴鳳在竹ノ處ニ天下ノ大ナルヲ見ルヒトヽキヽヲ

鳴鳳在竹ノ處ニ天下ノ大ナルヲ見ルヒトヽキヽヲ

鬱斯奉首 曾氣聲曾ヲ臣ト

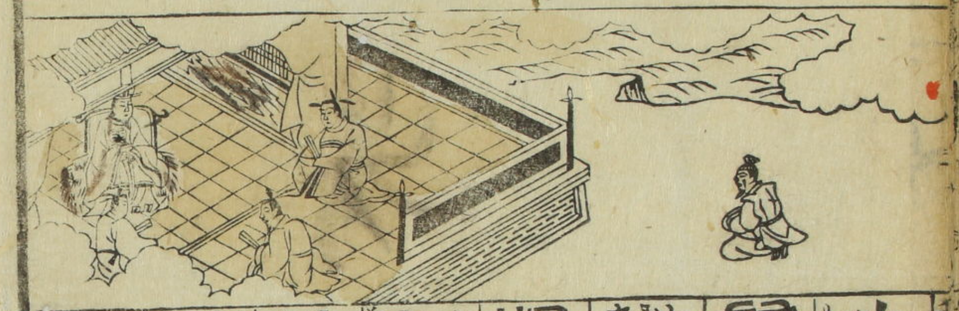
鬱ハ草木ノ生ヲ斯ハ此ノ人ヲ首ハ頭ヲ曾ハ氣ヲ聲ハ聲ヲ臣ハ臣下ノ人ヲ

鬱ハ草木ノ生ヲ斯ハ此ノ人ヲ首ハ頭ヲ曾ハ氣ヲ聲ハ聲ヲ臣ハ臣下ノ人ヲ

日月照臨 伏羲氏ヲ

日月ハ天ノ日ト月ヲ照ハ照ス臨ハ臨ム伏羲氏ハ人ノ名ヲ

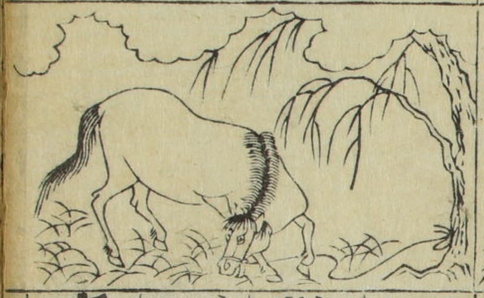
臣伏



化被草木 ゆきとゞかざるなきてんかの
歸騶騶海内 王王王王王 鳴
堯舜禹湯文武の世代のごとくなるべし
鳴鳴鳴鳴鳴 鳳鳳鳳鳳鳳 在
頼及萬方 頼ハ頼ノ仮字 ゆきとゞかざるなきて仁義礼
杜杜杜杜杜 在在在在在 竹竹竹竹竹 丹丹丹丹丹 白
智信の四常をそれ〳〵にそなへ〳〵そのうるはしきをもつて万代にながらへ
白白白白白 駒駒駒駒駒 駒駒駒駒駒 食

鳳

白駒



蓋此身髪 蓋ハ徳をあらはすことば
ありがたきこゝろハ身髪
食食食食食 食食食食食 場場場場場 場場場場場
膚をとゞめて万世にハこゝ
父母の恩をとうけてそむく
四大五常
化化化化化 化化化化化 被被被被被 被被被被被 草
四大ハ地水火風則ち五行にあてゝ地を骨肉と
水を血とし〳〵火を気とし〳〵風を命とするゆ
草草草草草 草草草草草 艸艸艸艸艸 艸艸艸艸艸
四大五常をそなへ仁義礼智信の五常
人生をうるゆゑにものをそなへ
木木木木木 木木木木木 頼頼頼頼頼 頼頼頼頼頼
千字文

髮	身	草木

恭惟鞠養 恭ハうやまつて こうこうまつり 惟ハ思ふの心 鞠ハ養育の心 父母の乃幼少のときこうりいざこうこうてゆーものをいつくしみてけつこう父母養育の恩をつんでいつくしむ

萬 萬 卍 萬 萬 萬

恭惟鞠養

知過必改 あやまりあらためてもそれをとがめずにすむ

敢毋敢謔 あやまちあるものをあざけりわらふこと

毀毀毀 らしもれいあやまちあるものをあざけりわらふこと

毀傷 傷害傷害 女 老老唐

得能莫忘 もとでにさかのぼりてその恩をわすれず

女女 墓墓墓墓 貞 貞貞貞

肝肝 肝肝肝

漢の昭帝天下の学者をめしあつむるとき日南国に張重といふものあり年十四にしてきたる帝これをあやしんでなんぢハ何人ぞとのたまふ重こたへていはく学者にて候ひとりの帝日なんぢ年わかしとのたまふ重こたへて日初学なんぞ才学によるべき君学をもめしけるそ（?）備せしむるに肉をもつてせば天下にハけんじん（?）ありてもちゐることもなし才学あるべきやうにこそ（?）まことにハ才学ハ重きもの也其日南のもとのまことに日なんぢがくの（?）ぞよくつきつつまでのこ（?）まうくうんちう日南のもののかのハやにむかふてのゆるところ（?）るこのことのまふ重日いまかれ雲中の国ありしかばそれ人ハ大にむかうてさんや東に国の国なりんて

信使可覆 信ハ人のまことなれバなり一日も車のくさびのごとし

改改改改得得得得得

あやまちをしりてかならずあらたむべし

能能能能能莫莫莫

器欲難量 人の器量ハはかりがたし

莫忘忘忘罔罔罔罔

梁家（?）の器量あることをしれ

罔談談談談彼彼彼

あれ瓜をうらへて（?）しかもやまひに小海の国せんや東方に水中にありきて六百里水中にどうんや西面に流しのあ（?）ていれるを怒とるさきて論じてんやうづかるあの流を日南にむかつておにかにむかつて日どもんや和気（?）をとんばことにありてまことにいいひけれにも大にあらてさびょうなし三三葵（?）して日小児のうちしくおどおうどろくゆうとえてころさんとゆのち重らくて天にむかいて大にいふりして日朕なんらとさんしおのうなんぢなんでおそるべすどうれてうてうくてもじふや重日これハ勢王小国のそのなり今天子のむにうつてかやいも亡ぼとそのをんなもんぞう

墨悲絲染 墨ハ墨翟とて梁恵王のときの人なりいとの白きをみて

彼彼短短短短靡靡靡靡

あやまちをしつてあらためよ人のたんしよをいふなかれ

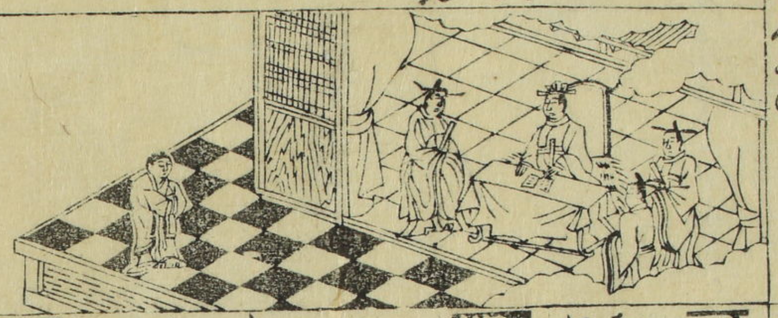
靡恃恃恃恃特己己己己

詩讃羔羊 詩経に羔羊の篇ありて文王のをしへにしたがふ

己己長長長長長長信

つきなきハ人のそしりとうくべし

信信使使使使使使可



良キ

景行維賢 景ハあきらかなるこころざしをもつてゆくべしとなり

可畏可畏可畏可畏 畏ハおそれつつしむこころなり

覆載萬物 覆ハおほうなり 載ハのせるなり 天地ハ大丈夫のごとく日月ハ婦人のごとし

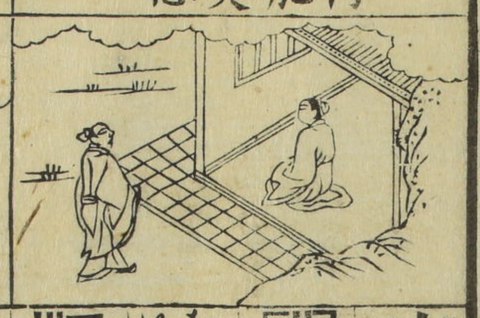
器欲難量 器ハうつわものなり 欲ハほしがるなり 難ハかたしなり 量ハはかるなり

慰念作聖 慰ハなぐさむなり 念ハこころなり 聖ハ聖人なり

德建名立 德ハ人の心なり 建ハたてるなり 名ハなづけてよばるるなり

得能莫忘

器欲難量



畏敬畏敬畏敬畏敬 畏ハおそれつつしむなり 敬ハうやまふなり

籠鳥恋旧林 籠ハかごなり 鳥ハとりなり 恋ハこいしがるなり 旧ハふるしなり 林ハはやしなり

池魚思故淵 池ハいけなり 魚ハうをなり 思ハおもふなり 故ハもとなり 淵ハふちなり

籠鳥恋旧林 池魚思故淵 籠ハかごなり 鳥ハとりなり 恋ハこいしがるなり 旧ハふるしなり 林ハはやしなり 池ハいけなり 魚ハうをなり 思ハおもふなり 故ハもとなり 淵ハふちなり

絲絲絲絲 絲ハいとなり

染詩詩詩詩詩 詩ハうたなり

形端表正 形ハかたちなり 端ハただしきなり 表ハあらはるなり 正ハまつすぐなり

贊贊贊贊贊贊 贊ハほめたたへるなり

羞羞羞羞羞羞 羞ハはぢなり

羞羞羞羞羞羞 羞ハはぢなり

墨悲絲染

羔羊

空谷傳響 びきのこゑありてあるを

空谷行 維 維 謂 維 孩 賢

陳思王梁山にあそび〜ときこゑまちに岩岫の中に響とよむ声をきくもを世につゝ今人梵唄

賢賢賢賢賢賢 虛 堂 堂 碧 聽 虛堂ハたゞうの堂なり魯の恭王孔子の宅をこわ

虛堂碧聽 堂中に金石絲竹のもてあそびをきくことゝ先王の典籍をよむこゑ

化 聖 聖 聖

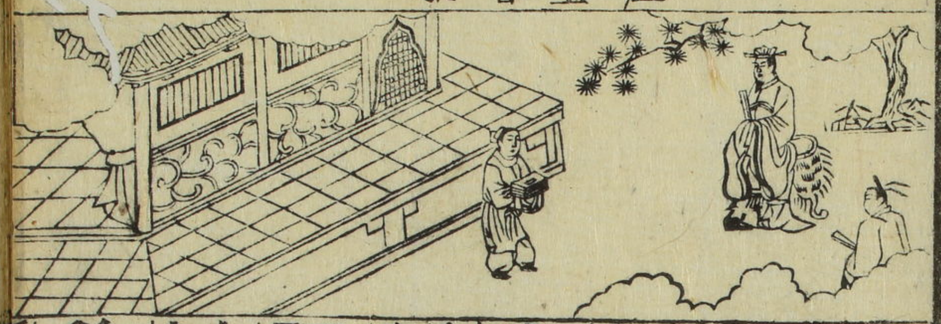
尺璧非寶

空谷跫音傳

寸陰是競

壺天堂

習聽



資父事君

因因因因因

積糧積積

日嚴與敬

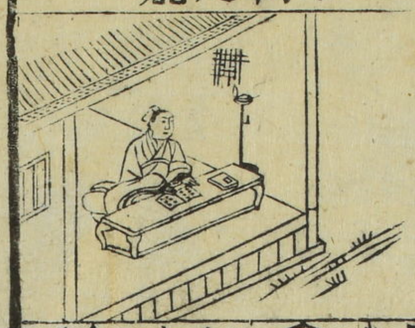
福福福福福

緣緣緣緣緣

善善善善善

慶慶慶慶慶

寸陰是競



孝當竭力　父母の恩は蒼天にして
尺璧非寶　璧は玉の名にして
忠則盡命　忠は中心にして
陰陰陰

似蘭斯馨 蘭は香草なり人の徳の世まれなるを

嚴敬與親 與与と同じ

藏斂躊躇敬孝 孝當竭力

如松之盛 松は春夏秋冬共に青き木なれども冬に成りて青き

孝當竭力 當當當當

川流不息淵澄取映 流れて絶えざるを川といふ水の深き所を淵と云

忠則盡命 則則則則

盡命臨深 命命命命

履薄履薄 薄薄薄薄

これをたとへていはゞ天地の如くに父の恩にあたるべき母の恩を忘れて父に孝行を尽すべきなり

臨深　履薄　蘭

容止若思　容止ハ威儀容貌ノ
風興夜寐　興ハ起ノ
溫凊定省　凊ハ清ノ
言辭安定
似蘭斯馨

如松之盛　川流不息

篤初誠美　愼終宜令
榮業所基　如松之盛
籍甚無竭　籍ハ聲ノ
淵澄取映　淵ハ深ノ
容止若思
言辭安定
篤初誠美
愛育黎首
臣伏戎羌
遐邇壹體
率賓歸王
鳴鳳在竹
白駒食場
化被草木
賴及萬方
盛衰盛衰
川流不息
流謙滿
不忘來ふ
息

言辞安定

楚の荘王に仕へて三年まで政をせず君臣ともに酒にのみふけり又宮殿をもてあそび士慶入て王をいさめて曰ふ此鳥の名を何と問ふに曰ふ三年とび給ふこゝろみ給へ此鳥ひねもすくらしこれを鳴ずして人をおどろかす此鳥の名を何と問ふに曰ふ天にもあらんかぎりなくとぶべし人をおどろかすこれを聞て王慶に問て曰ふ

榮業所基

人之榮業を行ふとうけざるべからざるなり

嬉遊淫樂

淫樂に耽る

嬉遊淫樂

耽取

耽取

映

籍甚無竟

籍甚はなはだ多し竟は究竟

映曜映容容容容

正

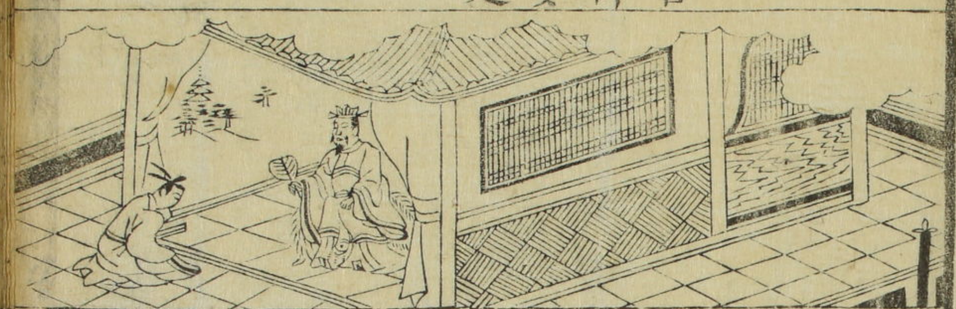
正

若

若

思

思



言辞安定

學優登仕

仕官する

言辞

言辞

安定

攝職從政

職を攝して政をとる

定

定定定

篤篤篤篤篤

篤

篤

学優登仕

存以往榮去而益永

美芙美善美美美美美

慎慎昏慎慎

終終終終終終終

宜宜宜宜宜宜宜

令令令令令令令令令

榮榮榮榮榮榮榮

學學學學學學學學學學學

業業業業業業業業業業業

所所所所所所所所所所所

樂殊貴賤卑高の象をなすひ〳〵ハ貴く賤きものの

所所以基基基基基

藉藉藉藉藉藉藉藉藉藉

禮別尊卑れいとてとものしやべつと

以天藉藉藉藉藉藉

十二支早公のしえハ九支章候伯のし〳〵ハ七支早子男

のし〳〵ハ六支章とくのごとくにたがふなり

富貴貴貴貴貴貴貴貴貴

學學學學學學學學學學學

學學學學學學學學學學學

千字文七

とゝうべ今六十星ゐれと

むかしハ何ごとにて嫂う

曰今をんなゞ古ゑ代相印

を佩てゐる名を天下に

あ〳〵ゐ〳〵ゐ〳〵ゐ〳〵を

りつて生てゐるあり

とゐうゐ秦ゞのうく

ゐゐうゐ〳〵ゐるゐ

ゐゐゐゐゐゐこれゐゐ嫂

の切し〳〵ゐ

存以井棠

上和下睦 睦ハ和ノ下ニ目ヲ書クトアリ

隆鬷優俳 發登登豐登登 仕

ヤマデモムツヒマコトシムヌ意愛アレバヲミモ孝行ヲ行ヒ和ヲ下ニ目ヲ書クトアリ

蹌蹌躡攝 職 職職職職 從

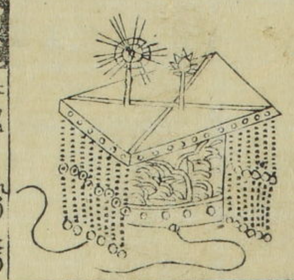
ウヤマヒウヤマヒ夫ニヤマコトヲアヅカヒ事モタヾシクヒカヘリ名自然ノ名理アリ

加從龍從 政 政政政政 政

夫唱婦隨 夫ガ言ヒ出シタ事ニ我ガ身ニ行ヘバウヤマヒ夫ニヤマコトヲアヅカヒ事モタヾシクヒカヘリ

存抑抑 龍龍 存存 以以 言言

兒



夫唱婦隨 法度ノ事法ノ事ヲ行ヒ事ヲ行ヒ事ヲ行ヒ

夫唱婦隨

諸姑伯叔 又のおばことおばとい又のをじと伯父をおじといつる

樂樂樂樂樂樂 樂樂樂樂樂樂

猶子比兒 猶子いもうとのこどもを子のごとくにかわいがりたまへとい

殊殊殊殊殊殊 賢賢賢賢賢賢 貴貴貴貴貴貴 賤賤賤賤賤賤

孔懷兄弟同氣連枝

禮禮禮禮禮禮 禮禮禮禮禮禮 別別別別別別

外受傳訓

孔懷兄弟 むづ〻 妻腦 あるにあらずとい

交友投分切磨箴規

單單單單單單 單單單單單單 上上上上上上

和和和和和和 和和和和和和 下下下下下下

三三三三三三 三三三三三三 下下下下下下

睦睦睦睦睦睦 睦睦睦睦睦睦 夫夫夫夫夫夫

夫唱婦隨 夫唱婦隨 夫唱婦隨 夫唱婦隨

孔懐兄弟

交友

仁慈隱惻 仁慈の心の深きこと

親戚婦女 親戚婦女

貧窮孤寡 貧窮孤寡

つぐなうとつとめて人のことをしねがふ

外親外戚 外親外戚

造次弗離 造次はつかの間

隣鄰傳訓 隣鄰傳訓

人人寵入 人人寵入

[illegible]

節義廉退 節義廉退

[illegible]

儀像保諭 儀像保諭

[illegible]

[illegible]姑姑伯伯 [illegible]姑姑伯伯

顛沛匪虧 顛沛匪虧

叔舅[illegible] 叔舅[illegible]

[illegible]猶獻[illegible]

廉ハ清倹にして
[illegible]の
[illegible]孫叔
敖楚の相となるの日に
狐の裘を[illegible]
[illegible]
退の四人伯夷叔齊
二人大王をゆづりて海
の濱にくれいこう文王
のたをおこしたりとして
周にきこうし武王の世に
兵をそろへて紂をうち
[illegible]二人武王のくるを
おそれて[illegible]
[illegible]
む兵をもつて二人をとらへ
んとしたまふ太公望曰これ賢
人なりとして上郷にせんとし
たまひあへて武王につく
[illegible]
の[illegible]二人る
[illegible]
[illegible]

性 靜情逸 人の性やすらかにして情逸楽しうあり

子 曷子学子 [illegible] 瓜苽 [illegible] 女

心 動神疲 心をうごかしつかれ
うごかされたまいうる

[illegible] 見兒 [illegible] 兒 [illegible] 孔 [illegible]

守 眞志滿 眞ハたゞつゝしみ天から
賦とうけたまわりおにし

[illegible] 乳孔懷 懷慕懷怪怪 兄

[illegible] 兄 [illegible] 弟 [illegible] 同

節

逐 物意移 人てのの人は情ハおのおのうつりにてんじあらた

同 [illegible] 同 同 氣 [illegible] 氣 [illegible] 同

[illegible]

[illegible] 連 [illegible] 連 [illegible] 連 [illegible] 技 [illegible]

堅 持雅操好爵自縻

枝 枝 [illegible] 交 [illegible] 交 [illegible] 交 [illegible] 交 [illegible]

雅ハ[illegible]
爵ハ官[illegible]

[illegible] 友 [illegible] 友 [illegible] 友 [illegible] 友 [illegible] 友 [illegible]

退

堅持雅操 漢の桓榮といふ人の家まづしくして猶そこなにもとれて猶そこなにもとりとゝ[illegible]これをもむ叔う曰貧賤にして[illegible]らむとこなんを栄うなく志そこにとゝろてあくまでも書を捨して田うゝて休りいとろとこにこれをとゝろしいのち光武のけ太傅となる

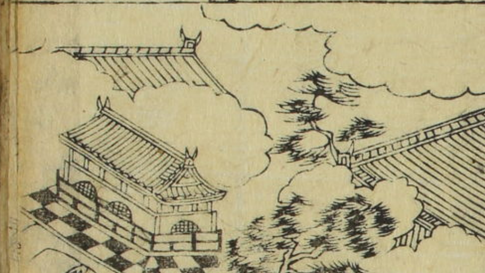
都邑華夏 天子の居のことをバ都といふ家廟先君代田あるところ田をこと邑といふ都をバ城といふ華夏中国の名なりこれを中華ともいふ

分野星次 切望切切 磨磨磨磨 歳歳歳歳 義規

東西二京 東京八洛陽ともいふ西京長安城なり周を新大邑と名あれ漢につくりて成王都しのことをあれといふ漢のこと狐長安城にうつこれをあらたいふ

規模規規 矩矩矩矩 慈慈慈慈 隱隱隱隱 厚厚厚厚 柳柳柳柳

堅持雅操 洛陽



背邙面洛 東都のうしろに邙山といふ大山をうゝ

情情逸逸 逸逸逸逸 逸逸逸逸 逸逸逸逸 逸逸逸逸 逸逸逸逸

前に洛水とおもてにして流れ伊水瀍水の二つの水うるおつよりあつまれと合して黄河に入る

浮渭據涇 渭涇二つともに水の名長安城の後に八の水あり

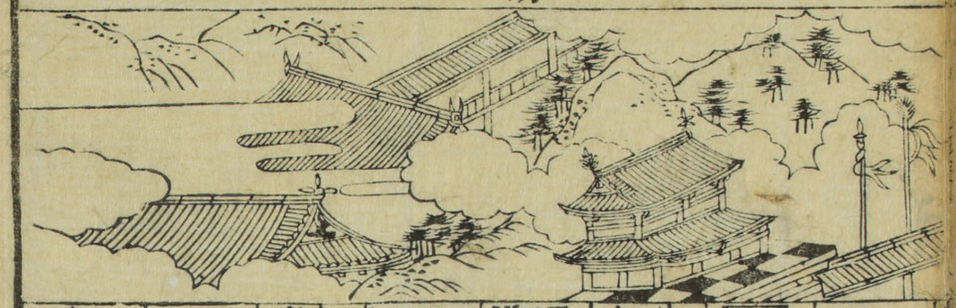
神祠神祠神神 神神神神 神神神神 神神神神 神神神神 神神神神

渭涇濃濃濃濃 濃濃濃濃 濃濃濃濃 濃濃濃濃 濃濃濃濃 濃濃濃濃

安城をあぐりて安城八渭水にうゝ涇水にうゝ

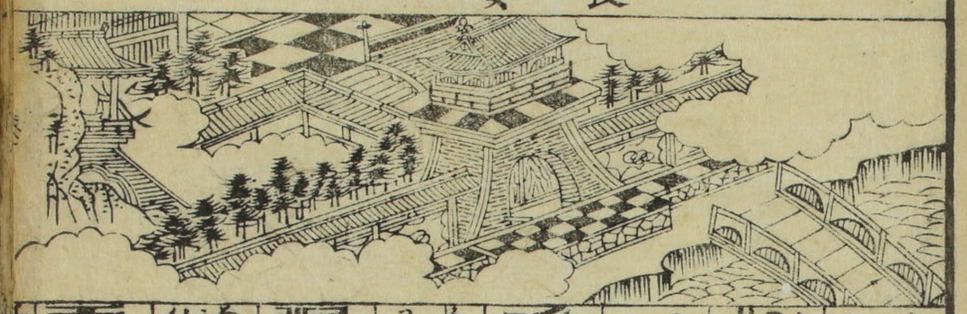
渡守 月月月月 守守守守 月月月月 月月月月 月月月月 月月月月

洛陽



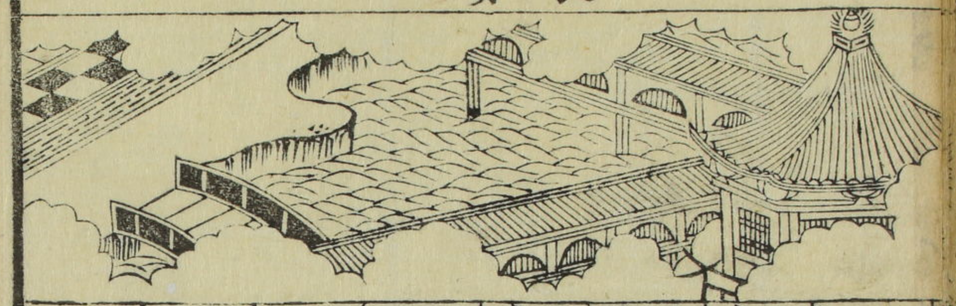
宮殿盤鬱
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
樓觀飛驚
樓閣
物華寶產
移移
[illegible]

長安



圖寫禽獸畫綵仙靈
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

長安



丙舍傍啟 丙舍ハ天子ノ居ル所ノ西ノ

混納紈 紈ハ絹

逶迤 逶迤ハ長ク遠ク

顛倒 顛倒ハ

つゞらおり

いそ殿に西殿に西ハ殿の西ノ方ノ

顛倒 倒ハ

甲帳對楹 楹ハ殿中ノ柱ノ

甲帳ハ帳名甲乙

迤邐 邐

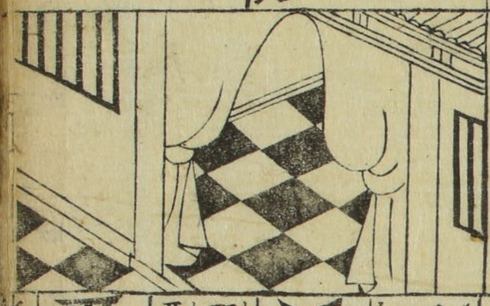
殿の西方の

ながく

仙靜 靜

仙

帳



內殿 內殿ハ

うちゝ

名なり

九尺南北に七間あり

昼夜 夜

昼夜ハ天子大殿の日に殿上に出

て居候に

敷 操 操 操 操

吹笙 天子遊席をまゐて居候と殿上

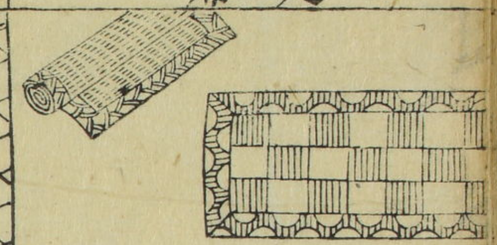
に舍人てうの人数ハ示しあり

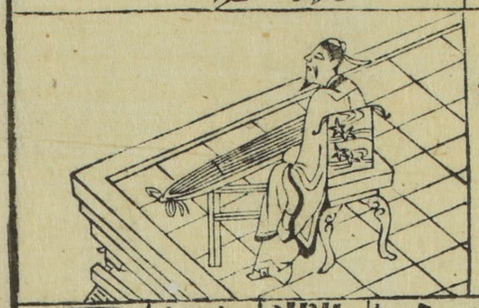
琴 琴ハ伏犧氏のつくりたまふ二十五絃の琴より

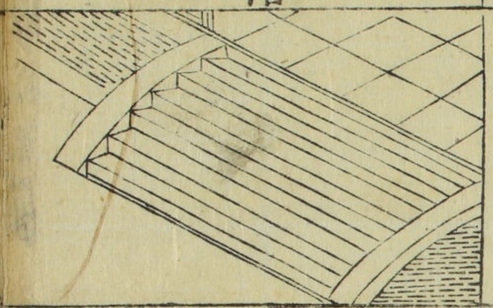
普笙 笙ハ鳳凰感じ来りこれを制作ハ人

麗壽宮 宮

千字文上







筵席　鼓瑟　王子晉　階

升階納陛　階はきざはし天子の階を陛といふ也つゝしみあり

閣廊殿堂　法候殿上にのぼりゝ所をいふ也

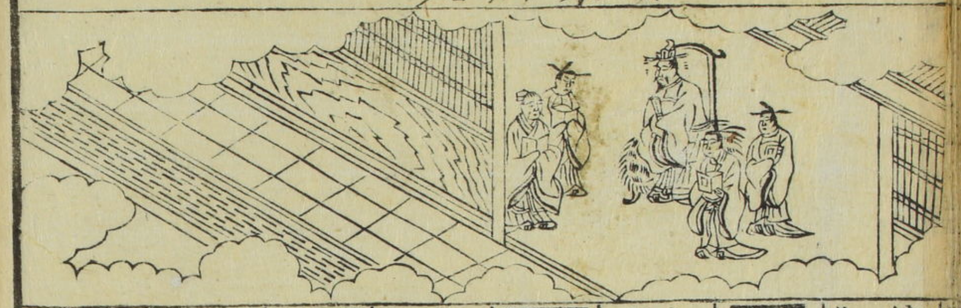
弁轉疑星　法候天子に給仕をする人をいふ

鹿の皮をもつてこれをつくりたる冠弁のごとく殊おごりてあり

右通廣内左達承明

西西西

亦聚群英



心ハ殿上ヨリテ天典籍乃ハ天ヨリアツカリ
むかしの伏羲神農黄帝乃書ヲ石ニ墳

渭 緯 渭 沔 瀾 爽 輜 援 接

とゝのゝ サ昊顓頊そる辛唐堯虞
歌乃書ヲハメ典ヒくいつゝものゝ

赤

經 經 經 涇 宮 鳳 凰 皇 宮 室

聚 群 英

殿 閣 殿 閣 殿 閣 館 館 館

英ヲのハヒとあつうて紙偽ヒ謙及ヒしむ
ゝう渓石渠閣ヒひゝさて傷ヒあつめ博ヒし

龍 盤 象 蓋 蓋 鬱 鬱 鬱 鬱 鬱 鬱 鬱 鬱

杜臺

鍾隷

杜臺鍾隷

樓 樓 樓 樓 樓 樓 樓 樓 樓 樓 樓 樓

臺ハ高ものゝ高さのうゝとゝのみ魏の
種絲ハ水蒙のの書とあらためて隷書にうゝ

杜樑ハ漢乃丞相とある
草書ヒバくくとゝあゝ

飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛 飛

驚 驚 驚 驚 驚 驚 驚 驚 驚 驚 驚 驚

漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

壁 壁 壁 壁 壁 壁 壁 壁 壁 壁 壁 壁

經 經 經 經 經 經 經 經 經 經 經 經

漢の皇帝ヒとのりて
人ゝ出高山乃石壁にう

圖 圖 圖 圖 圖 圖 圖 圖 圖 圖 圖 圖

ゝ書ヒ
ヒとれて石ヒかりて文字ヒとゝうゝりとゝ

禽 禽 禽 禽 禽 禽 禽 禽 禽 禽 禽 禽

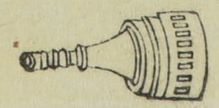
獸 獸 獸 獸 獸 獸 獸 獸 獸 獸 獸 獸

漆書壁經

府羅將相 こみ心に貫のめにいろうらゆに將あのなとと

默誦書畫 畫畫畫

韓信　輦　轂



天子乃ち人ひとりをつかはしてこれをよのりたまふ車輅をうり轂をとる

遮道　設　設置席　席

車駕のこゝに幾ばくかのあひだ天子にまみえんことをこひねがふ人のうちにこれとうるものあらんことを

席　設　數　數

陰輦車といつるものをうるものをもちてこれをうるものをもとめてゆうしゆの幾と振てひとつ

轂とあるものをうる

琴　瑟　吹　吹

世　祿　侈　富

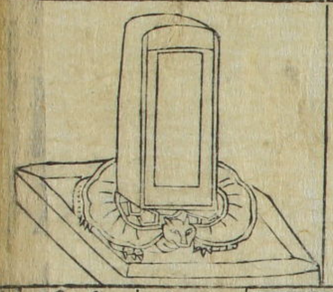
車　駕　肥　輕

龍　笙　笙　笙

民　畫　升　陛

階　階

纓　袞　碑



例ハとごろん心世〻をあうとく宮をもちゐるうの〻とどろてゐどと華美にしてる車

庭　陛　紐　納　納　陛　陛

出入所にうる馬にあのり

策　功　茂　實

驅　生　陛　陛

勒　碑　刻　銘

轉　轉　轉　轉　轉　轉　轉

れとるものをうるにさゝつけてこれとつて

てのちのせもてきちぬうにとるあり

牧　星　星　星　星　星　星　星　星　星　星　星

右左通 [illegible] 廣 [illegible] 廣 [illegible]
內 [illegible] 共 內 內 左 [illegible] 左右 [illegible] 禘 [illegible]
[illegible] 戚 [illegible] 承 [illegible] 明 [illegible]
[illegible] 既 [illegible] 既 [illegible] 集 [illegible] 集 [illegible] 集 [illegible] 墳
[illegible] 墳 [illegible] 興 [illegible] 興 [illegible] 興 [illegible] 大 [illegible]
[illegible] 聚 [illegible] 聚 [illegible] 聚 [illegible] 聚 [illegible] 聚 [illegible]
[illegible] 榮 [illegible] 榮 [illegible] 榮 [illegible] 榮 [illegible] 榮 [illegible]
[illegible] 杜 [illegible] 杜 [illegible] 杜 [illegible] 杜 [illegible] 杜 [illegible]
[illegible] 豪 [illegible] 豪 [illegible] 豪 [illegible] 豪 [illegible] 豪 [illegible]
[illegible] 鍾 [illegible] 鍾 [illegible] 鍾 [illegible] 鍾 [illegible] 鍾 [illegible]
[illegible] 隸 [illegible] 隸 [illegible] 隸 [illegible] 隸 [illegible] 隸 [illegible]

[illegible] 書 [illegible] 書 [illegible] 書 [illegible] 書 [illegible] 書 [illegible]
[illegible] 經 [illegible] 經 [illegible] 經 [illegible] 經 [illegible] 經 [illegible]
[illegible] 府 [illegible] 府 [illegible] 府 [illegible] 府 [illegible] 府 [illegible]
[illegible] 將 [illegible] 將 [illegible] 將 [illegible] 將 [illegible] 將 [illegible]
[illegible] 相 [illegible] 相 [illegible] 相 [illegible] 相 [illegible] 相 [illegible]
[illegible] 路 [illegible] 路 [illegible] 路 [illegible] 路 [illegible] 路 [illegible]
[illegible] 俠 [illegible] 俠 [illegible] 俠 [illegible] 俠 [illegible] 俠 [illegible]
[illegible] 槐 [illegible] 槐 [illegible] 槐 [illegible] 槐 [illegible] 槐 [illegible]
[illegible] 卿 [illegible] 卿 [illegible] 卿 [illegible] 卿 [illegible] 卿 [illegible]
[illegible] 戶 [illegible] 戶 [illegible] 戶 [illegible] 戶 [illegible] 戶 [illegible]
[illegible] 對 [illegible] 對 [illegible] 對 [illegible] 對 [illegible] 對 [illegible]
[illegible] 八 [illegible] 八 [illegible] 八 [illegible] 八 [illegible] 八 [illegible]
[illegible] 縣 [illegible] 縣 [illegible] 縣 [illegible] 縣 [illegible] 縣 [illegible]
[illegible] 家 [illegible] 家 [illegible] 家 [illegible] 家 [illegible] 家 [illegible]
[illegible] 給 [illegible] 給 [illegible] 給 [illegible] 給 [illegible] 給 [illegible]
[illegible] 千 [illegible] 千 [illegible] 千 [illegible] 千 [illegible] 千 [illegible]
[illegible] 兵 [illegible] 兵 [illegible] 兵 [illegible] 兵 [illegible] 兵 [illegible]

高高高高高高高高冠冠冠冠冠冠
驅陪陪陪輦輦輦輦輦輦輦輦輦
輦輦輦輦輦輦振振振振振振振
孫世世世世世世世世世世世世
禮祿祿祿祿祿祿祿祿祿祿祿祿
富富富車車車車車車車車車車
肥肥肥輕輕輕輕輕輕輕輕輕輕
輕策策策策策策策策策策策策
功功功茂茂茂茂茂茂茂茂茂茂

貞貞貞貞貞貞貞貞貞貞貞貞貞
勒勒勒勒勒勒勒勒勒勒勒勒勒
碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑
碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑碑
刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻
銘銘銘銘銘銘銘銘銘銘銘銘銘

伊尹

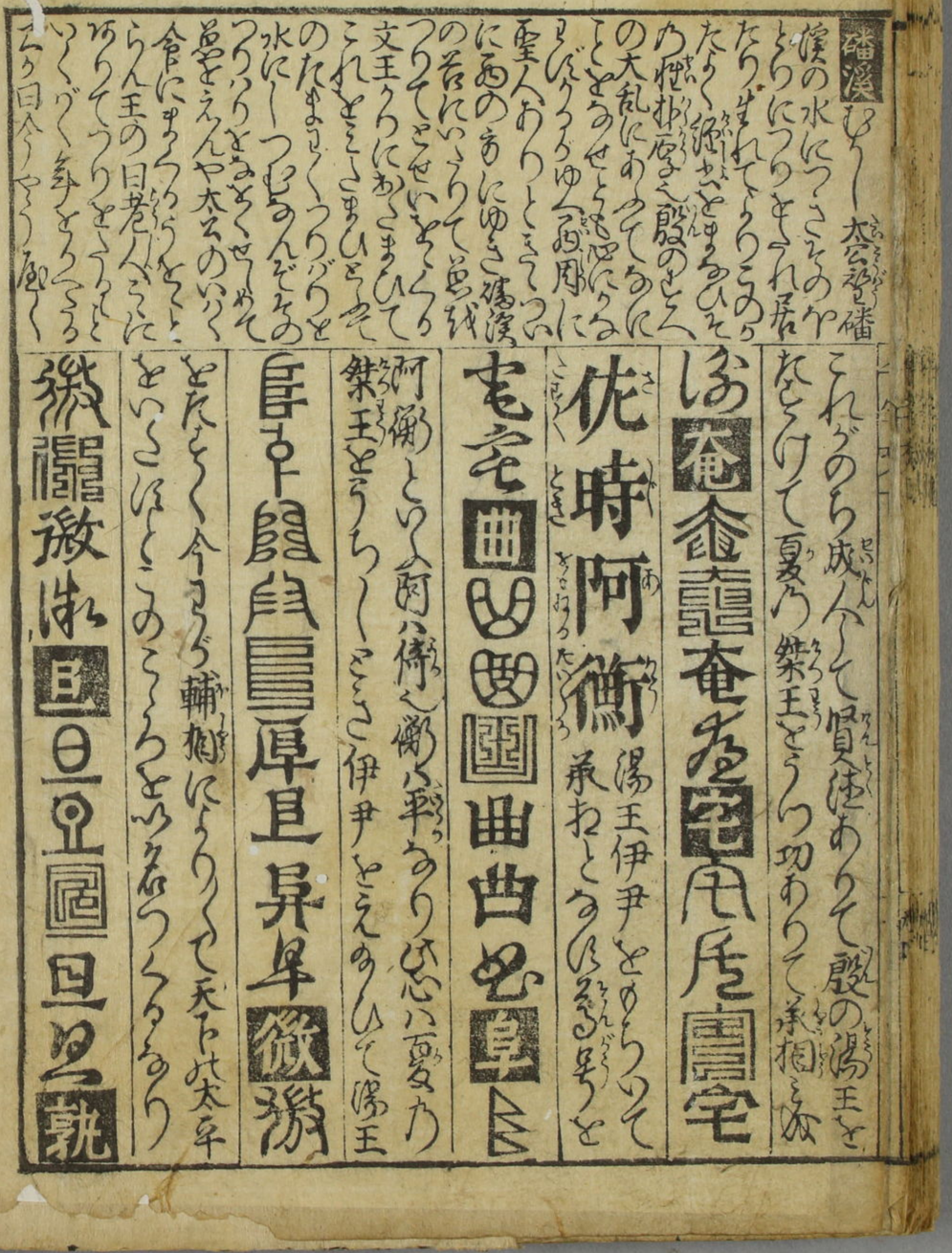
磐溪伊尹 磐溪水の名 伊尹菊四のくにゆさんとうしゆ

磐磐曙磐砥 緊緊緒緊緊緊緊緊緊緊緊

ゆるそつぐそつぐゆるゆる大水あるとき神に祈りてにぐ〳〵必ありとうぐ〳〵

紙伊 伊伊尹尹尹

ひろ〜太公望緒
渭の水につさそのや
らにつりをそれ居
たり生れてうりこみら
たらく流さとゆるひて
乃憑扶屋之殷のもと
の大乱にあつてるに
ことをのせらもひにる
るびりうゆ西周に
聖人おりしとてつい
に西の方にゆき渭溪
の若にいうりて邑我
つりてどせいそくる
文王ろにあこまひて
これとこ〜まひこそ
のたまひくつりびりを
水に一つひのんぞそのの
つりりをゆくせめて
夢をえんや太公のいく
食にまつろうをとこ
らん王の日老人ぐらに
ひりてうりをうとと
いくびく年をとうる
ろ曰今〜やう風く


これのら成人して賢徒あるて殷の湯王を
たとりて夏乃桀王とうつ功あるて丞相為
ほ 奄 龜 奄 宅 尺 居 宅
佐時阿衡 湯王伊尹をとらつて
丞相とるの乃弱弱
屯 曲 曲 曲 曲 阜
阿衡といふ人阿八傅〜衡八平なり心八夏乃
桀王をうちしこと伊尹をえのひて湯王
昏 日 昏 厚 且 昇 阜 微 微
とたとく今ようう輔相にうりて天下は太平
をいさほこのこうをつくるなり
微 微 且 日 且 日 且 日

太公望

桓公匡合濟弱扶傾

弱弱 扶 [illegible] 傾 [illegible]

[illegible]

傾 [illegible] 綺 [illegible] 綺 [illegible] 回 [illegible] 回

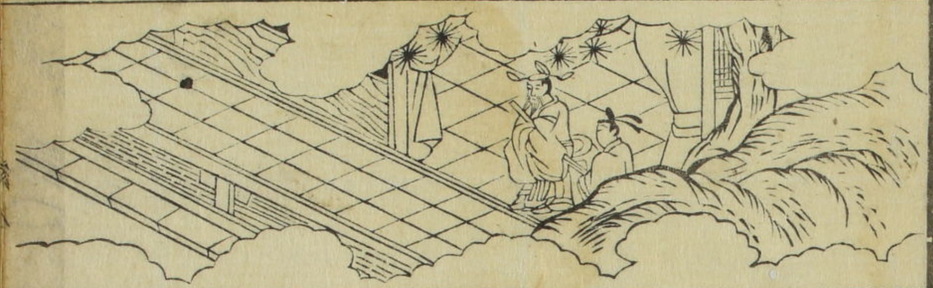
[illegible]

回 漢 [illegible] 漢 [illegible] 惠 [illegible]

[illegible]

[illegible] 惠 [illegible] 說 [illegible] 說 [illegible] 感 [illegible]

奄宅曲阜



綺廻漢惠

綺 [illegible] 廻 漢 惠 [illegible] 綺 [illegible] 四 [illegible] 四 [illegible]

感 [illegible] 武 [illegible] 武 [illegible] 丁

[illegible] 秦 [illegible] 傷 [illegible]

个个 [illegible] 丁丁 俊 [illegible] 俊 [illegible] 俊 [illegible] 又

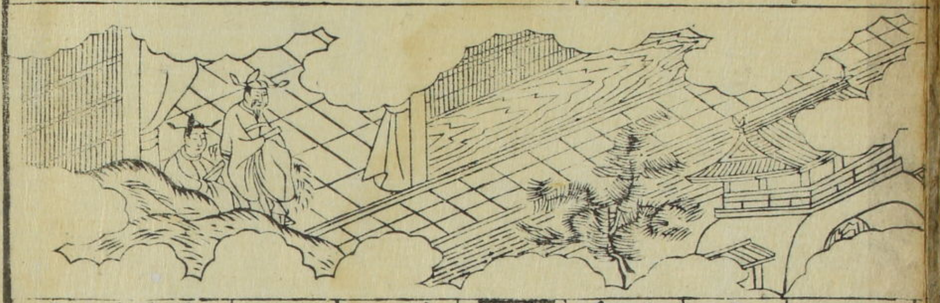
[illegible] 農 [illegible]

[illegible]

人人 [illegible] 又人 密 [illegible] 密 [illegible] 勿 [illegible] 勿

[illegible]

[illegible] 勿勿 多 [illegible] 多多 [illegible] 多多 [illegible] 土



說感武丁 此ハ傳說なり武丁ハ殷の高宗なり夢

士丐 囂 杰 宴 昆 金 皇 寔 宮

うるに一人の賢人をさとりてこれに天下をおさむるにいたりゆめさめてのち

宮 盧 盧 盧 盧 寧 宮 晉 晉 晉

夢中にうり賢人のかたちをうつしとりて

醫 鑄 晉 晉 晉 楚 楚 楚 楚 楚 楚 楚 楚

ちがへたまひてえんりさにことのりして天下

北 北 夏 夏 夏 夏 更 更 更 更 更 更 更 更

とうせのひとその終身をもつて天下にあ

まねくのりに傳說とゆめのひ宰相をもつて

漢知漢 漢のそうの張

ことでに惠帝を世にそて太子をしたがへまさ

賊夫人とてうあいしの人

ゆへにりんの太子をとて

の夫人のごとくにおもそて

て太子をせんとしたりし

め惠帝乃ち四皓

ひてとりのしこたまひ

て漢民にさしたまふ漢

高りいうくこれ話をそん

てあくそひうしひそ

うくもんに王勢をし

ゆへしもうそうの呉人

呉人あこれ呉人を王のみハ

だうとしてうそうの金軍

とつうハし太子の書を

とうくしめ孔家をたつく

してこれをうせそう

呉人のこのうそうこれ

一のことけんうるゆへ

に后紙をうそうにはま

くをてそのてくにしの

呉人則いうこ敵良法

俊乂密勿多士寔寧

廣霸霸虜廣趙趙趙

假途滅虢 虢八國乃名。虞國と晉との獻と虢

遵道紀綱約法 遵道紀綱約法

綜嚴法法 綜嚴法法

斃斃敝弊 斃斃敝弊

刑形 刑形

と並び人のうの太子に
ちさぐつくりを年八十余
家にして官位をさ
冠もりぐうこうハし
ら犯わゆしこのひて
これやとしひの八人と
つくくその名をとりし
れぐそうぐわくさ
ひてこれは四人と
のともむれしともこうろ
むといまは四人に太子
にしこうてあそぶる
四人の目こうくハ士をう
ハんじの今太子ハ
仕者のりて士をあい
しにゆしうくぶの名を
ていうりあてあそぶに
嫌をとそて廣をそうる
とおそうくハ天下わや
うくるべしこの事れ
目はぐうくハそのうち
太子と側後しのへと
四人とぶとをのうて
うくうくうところ

趙魏困横 関西をハ横比とみし関東をハ縱地とうろ

燕齊滅虢 虢狹齊虢

秦韓韓虢 秦乃昭王関西乃地ゆ若したもひてこの
いとりひとつくくさんるうるぶゆ関

踐土會盟 踐土土會

會會會盟盟盟

韓滓煩刑 韓ハ名ハ非秦の國の相ニ成りて法令ヲ厳しくし〳〵の弊を除とり肉刑大辟をバ無くいたらしめ

驪威戎沙 漠漠沙沙

起翦頻牧 起翦ハ王翦ハ二人は秦の國の大將ニ頻牧ハ廉頗牧ハ趙國の大將ニ名を名を

冥冥玉冊 月月驪丹丹青青

踐土會盟 踐土ハ地の名ニ魯の僖公と蜀の文公とと

起翦頻頗 起翦ハ王翦ハ二人は秦の國の大將ニ頻頗ハ廉頗ハ趙國の大將ニて踐土に會盟をなし〳〵

何遵約法 何遵ハ蕭何遵ハ曹參と定て法令を守て行なう

驪牧用虎 驪牧ハ李牧用虎ハ

驪用軍軍 驪用ハ軍軍ハ

軍軍兵兵 軍軍ハ兵兵ハ

最晨冒冒 最晨ハ冒冒ハ

最衆寡寡 最衆ハ寡寡ハ

精微

自起

王翦

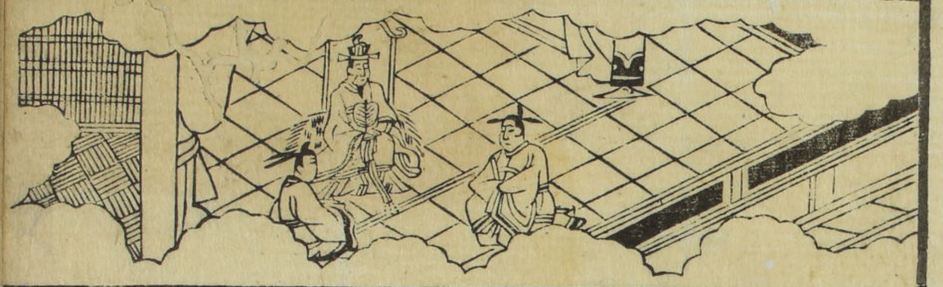
用軍最精この四人ものともハ
將將貴者九九二百九九
用よりてそ敵をうるその功ハ大
にして天下の人みなこれをまつぬの色
州州弱州州 角金金
宣威沙漠沙漠ハとをきえびはる
ゆうゆうとのあるハ
疆界秦秦 班談蹟蹟述述 百
四夷を征伐してこれ大功をたて威勢の名
と方々の外よりうとの四人がこれ
百百二百百 郡郡郡郡郡郡

廉頗

李牧

馳譽丹青 誉ハ名誉丹青ハ
畫ゑかれたる名
將將秦秦秦秦 將將將將
功あるものハ名をのこしてこれを
万世にとゝむ前漢の蘇武ハ
并并并并 嶽嶽嶽嶽嶽嶽嶽嶽
九州禹跡 夏の禹王ハ洪水をた
ひらげて天下を分九州
嶽嶽嶽嶽 宗宗宗宗宗宗宗宗
にしの二に冀州二に兗州三に青州四に徐州
五に揚州六に荆州七に豫州八に梁州九に雍州
讀泰泰泰 碑碑碑碑碑碑

百郡秦并 秦の始皇国内に居しあらんかぎりの
禪禪禪禪 禪田 王王王王 云
自由なるこゝに始皇十二年に楚を亡ぼし斬しつゝ
もの書をもつて秦王につゝく秦王かの国に
亭 高高高高亭亭亭 雁雁雁雁
んとてうれひ歩斯う曰秦人穆公百里奚と
らうておもうこれ秦国に人をとゝのゑ
雁鴈鴈鴈 鴈鴈鴈鴈 門門門門門門門門
新と更めて李斯がうりことをかう
りて天下一統へ始皇天下をわうら百郡とし
門門 紫紫紫紫紫紫紫紫 屋屋屋屋



岳宗恒岱 岳ハ四岳恒ハ四岳の
恒岱とゝのこれ代州
塞塞塞塞 雞雞雞雞雞雞雞雞 田田田田
よりうめ岳乃中たゞ恒岱ひとつうとし
南むきにあり故に人を南に向て居らしむ
田田田田 赤赤赤赤 交交交交 青青青青
禪禪禪禪 主主主主 云云云云 亭亭亭亭
云亭ハ乃名むりし
要懐氏秦の人
城城城城 盛盛盛盛 墉墉墉墉 埴埴埴埴
云亭と称し漢郡祀志にあり鄭氏
注に要懐氏ハ乃ち者仲義の弟なり
見見見見 池池池池 絶絶絶絶 澤澤澤澤 池池池池 隔隔隔隔

岱山

雁門紫塞 岱山ハるくそびてゐるさんでこゆることあるこゝに

嶇嶇碣碣 石 石戸 石 石ゝ 鉅鉅

たゝゝ鉄ハいわり居まぶとゝる鉄中に四てゐるもゝく人居門ゝ居つく鷹とゐ居るゝ

玉 龜 鉅 泛 駅 堅 桎 鼈 鼈 野 樹 曙

ぬくたゝゝれて食せゝゝ居るゝんゝ
ゝゝとゝあまゝわゝれてゐる芦乃茶

洞 洞 洞 洞 鼈 洞 洞 庭 庭 庭 庭

とゝゝゝて四鷹芦にとゝれて居とゝゝ
寒ハ堀乃ゝ傍に茶寒ゝゝ草ゝ茶ゝとゝ

疋 曠 曠 曠 曠 曠 曠 曠 遠 遠 遠 遠 遠 遠

雁門山

雞田赤城 雞田ハ沢乃名城西乃傍にあり黄河千里

遠遠遠遠 遠 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣

余方一ヶ所ゝ乃ゝ赤城ハ震沢ふ
乃わ乃方番安郷とゝゝとゝにあり

邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈 邈

昆池碣石 長安城乃西に昆明池あり漢武帝の時南国

巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖

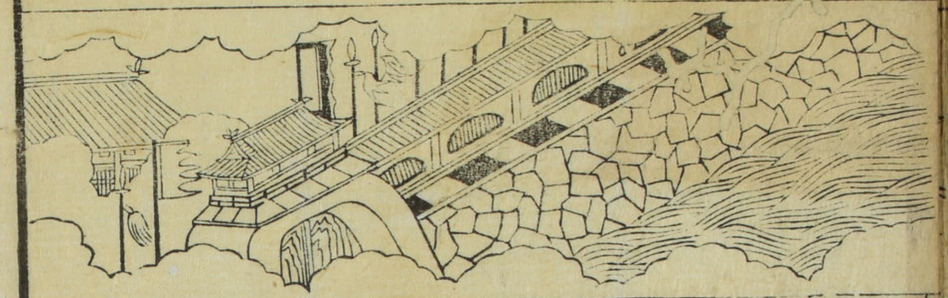
岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩

に見明四方あり方三百里の池水の中に居て
くゝ水戦と武帝ハゝとゝ一泡とゝゝて

杳杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳 杳

冥冥冥冥冥冥冥冥冥冥冥冥冥冥冥冥

昆明



方四十里池の中にこの則水をつたへて上にのぼらしめ低田を潤す池を

治本於農務茲稼穡

鉅野洞庭

於物繁生茂農業繁盛

洞庭湖の曠遠綿邈

晨農業務殖茲茂

岩岫杳冥

鬱茲茂稼穡稼穡

治本於農務茲稼穡

嶋穡稼穡 叙術 叙術 叙術 叙術 叙術

秦乃始皇帝天下にあまねくしてゆきて海をのぞみ山にのぼりて海をのぞんでさまざまの方士に命じて仙薬を求めしむ徐福乃白山山乃名蓬莱方丈瀛列となづく乃方士乃千人を乃童男童女乃百人をバそこにやりてとゞまらしめバくらゐをうけて仙薬をもとめて長生不死を始皇乃日たれかつぐたゞに仙薬をもとめんと徐福がいふくらくうの不にゆくんぞ童男童女百人をゆきていくゆきてこの仙薬をえん始皇乃喜男童女百人をもとめえて徐福をゆかしむ朝ることれどもこゝに

戴鬱載南南岳南

叙載南我藝黍稷

南面敢東瞻敢家西 叙我共

我稷黍 藝 稷 稷 稷 稷

始皇倹約にしてそくさことをわやしてそんずして これをもせしむ倹約つゞ人にかうて日也 茶をとりなんとされ 始皇つゐに太子をころす 始皇これをとこへて 天下の車 …

税熟貢新

いにしへハ公田上熟の田にハ税貢二升中熟の田ハ一升半 …

藝 埶 蓺 黍 黍 稷 稷 稷

宗廟にそなへ …

勧賞黜陟

天子毎年使をおくりて …

臺 貢 貢 新 新 新 新 新 勧

勧 勸 勸 勸 勸 賞 賞 賞 賞 黜

…始皇の喪を発してつゐに驪山にかくるとなり

孟軻敦素

孟子名ハ軻字ハ子輿 …

黜 陟 陟 陟 陟 陟

孟 孟 孟 孟 孟 軻 軻 軻 軻

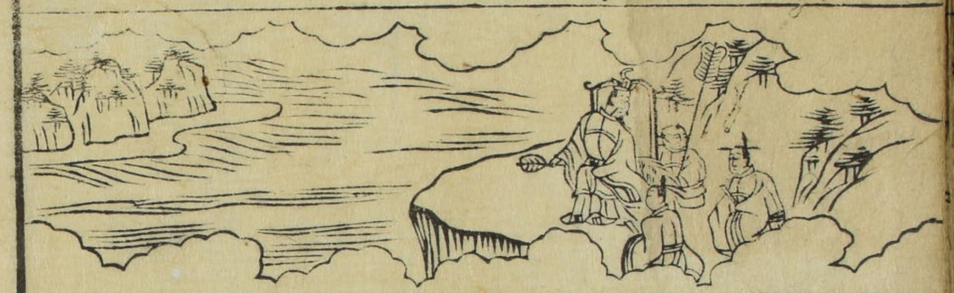
史魚秉直

史魚ハ衛の大夫なれ …

敦 敦 敦 敦 素 素 素 素

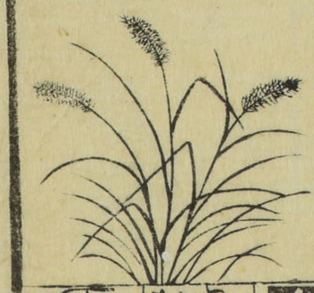
史 史 史 史 魚 魚 魚 魚

碣石

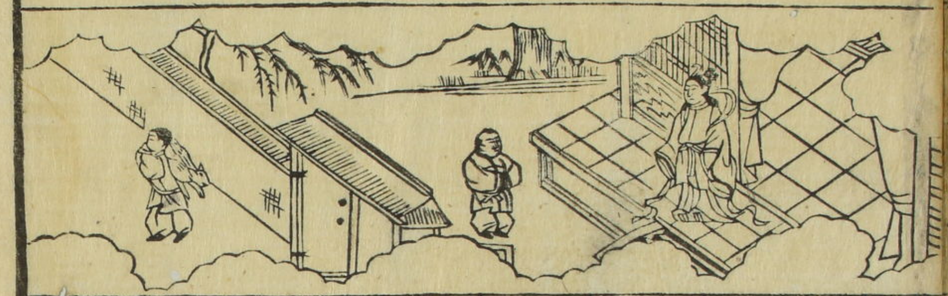


鹿幾中庸勞謙謹勑

奚奚奚

稷	黍	岩
		

鑑 鑑 鑑



省躬譏誡 有人家しりうるを譏誡いましめうしむ

誠誡譏誡 誠は戒なり人たるものは人倫の義をつとめ

その身に及ぼさんことをうるなり

增增增增 增は加なり

寵增抗極 抗は抗なり

抗極殆辱 殆は危なり

殆辱近恥 小人を知るものは人の寵愛をうけてはじをかくさんことをうるなり

殆辱 辱は恥なり

林皐幸即 林皐は樹の相くるを九人のつくる皐人

近近恥 恥は辱なり

恥辱恥恥 恥は辱なり

林林 林は樹なり

林皐 皐は高なり

皐皐皐皐 皐は高なり

皐皐 皐は高なり

皐皐 皐は高なり

聆音察理

その樹木の葉をもてるのしるさめをうこと
んとかうにと何ゆへうそとつく林泉ゐいそ

見兒見 機機機機機 機機

くこれハ趙王まりて北方のものをこころん
とかうにの方のこれをもてさをこにもなを

解解解解解解解 組組組組組組組 誰

これをうついうをいんやんろハるをもつ
てるうとといそて又ろうとくおうれて

誰誰誰誰誰 逼逼逼逼逼逼逼 家家家

つねよ[illegible]とうしるこに人多を繰るうまで
いでび王これをるのひて日[illegible]ハ林泉文ろと

茶閑茶茶茶 居居居居居居居 居

鑑類粹亀

閑閑閑閑閑 閑閑閑閑閑 閑

漢乃附疎廣子と疎受二人約窟ゐり又みつる
窟を謝して冠組を郡門ひらくよく天子金三

疎疎疎疎疎 疎疎疎疎疎 疎

十斤をこうの[illegible]
つて金を[illegible]

默默默默默 默默默默默 默

沈沈沈沈沈 沈沈沈沈沈 沈

寂寂寂寂寂 寂寂寂寂寂 寂

求古尋論散慮逍遥
尋論論論論論
陽春にしてぞうのときこそうらうらの
ろ哭人らうそ儀海をどそろひとりて
散
散散散

索居閑處

枇杷晚翠梧桐早凋

的的歷歷歷歷歷歷

心ハ枇杷ハその葉ニあつてもちぢまぬ
梧桐ハ葉ニたちくハその葉ハ〳〵ちりてゆく

園園園園園園

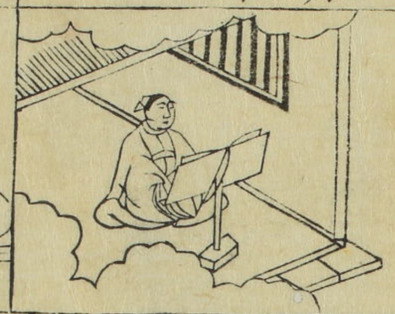
陳根委翳落葉飄颻

紬繙紬紬抽抽條條條條

葉ハふるくなる樹木の根もとにくれば〳〵
うけ本をふしぎなる風にゆらゆる第

枇杷晚翠

古木



渠荷

遊鵾獨運凌摩絳霄

鵾晚晚鵾翼翼翠翠格格格格

霄ハ天ノ鵾ハ大鳥化シテ鳥トナリ莊子ニあり
ばさ〳〵ゆらゆらして九万里にみばをつゞけるのてい〳〵

格格桐桐桐桐桐桐叶叶

耽讀耽耽市寓目書箱

書ハ王充家貧シ洛陽ノ市ニ行キ書ヲ見テ
てゝれど書ニ目ヲ寓ス箱ハ篋ノコトニ

鄭鄭陳陳孫孫根根

鄭陳孫根根根根根

枇杷

梧桐

易鞘俊畏屬耳垣墻

閭委委鬣鬚鬣鬚落

葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉

具膳食飯適尸充腸

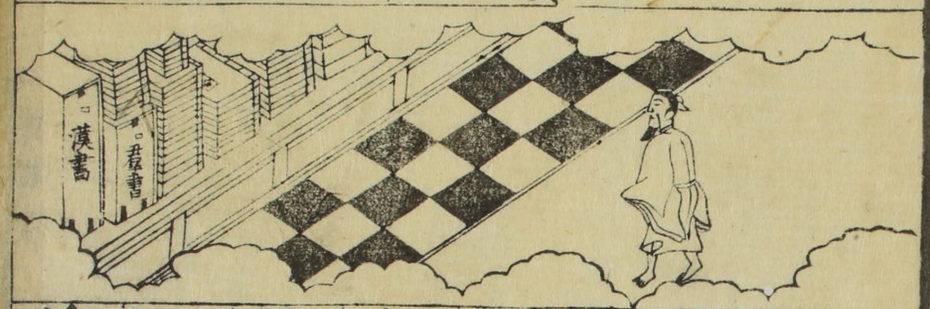
飆飆飆飆飆飆飆飆飆飆

飽飫烹宰飽飫烹宰

鵝鵝鵝鵝鵝鵝鵝鵝鵝鵝

獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨

耽讀耽讀市



飢厭糟糠

韓信貧しき時人家に食をねがひて常にわくことを厭はず淮陰にて人の飯を漂母に食ひてこれを恩とす

猶遲遲務遲運運淩

淩遲淩

支摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩

魚をつる漁夫あり食をあたへ後日報ずべしと云て死をいとはずこれを報ずとあり

緝緝緝緝緝緝緝緝緝緝

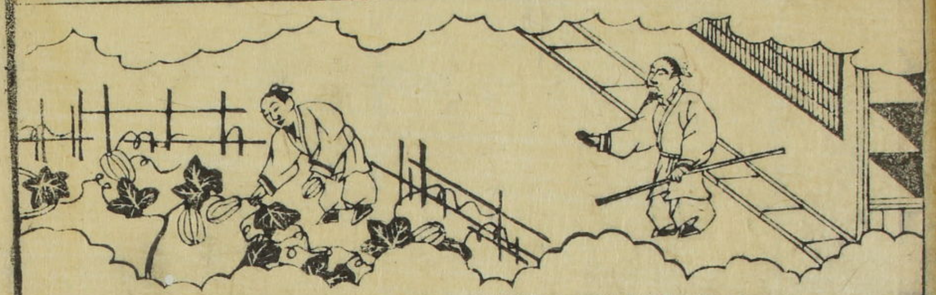
親戚親戚親戚親戚親戚親戚親戚親戚

故舊故舊故舊故舊故舊故舊故舊故舊

讀讀讀讀讀讀讀讀讀讀

沈讀沈讀沈讀沈讀沈讀沈讀沈讀沈讀

飢厭糟糠



老少異粮

市 風雷赤お 寓 鳳凰 寓 宮 目

つくさものを食はるるうまい老人をそうとして

目回 目 鬱 鬱 目 目 鬱 鬱

つくさものはいるざるの長幼序

あるいとうひて老人とよにちくるり

箱 糊餅 箱 易 易 易 易 万

妾 御 績 紡 女人は糸をうみひ

ぐとをりそうとする

輜 輜 輜 輜 輜 輜 輜 彼 彼 彼 彼 彼

老少異粮 むう〜蔡州

とのうちの年十二歳

にてこれ老母とともに

王莽が乱のときに天下

大に飢饉してこうし

死ぬ時に湯粥どもを

くしてくをこころうて

食はくに粥母とともにみん

ぐこの田中にあるうて

の実をひろいぶく熟

せるとこの入れに入れ

よくせぬとの余の入れよ

へ海のこと酒にて賊に

あるの賊に二つの入れよ

くるのをとりのとこてゆ

をこの入れ白くのをこ母

にてるのよりのこさいの

食にしく賊ともこれ者

彼のみこのこれを

このこにこれにまめ

ゆをあのこみれの最に

の実中へ入れを賊一人も

とのこのこと

侍巾帷房 婦人たるものは夫に

つかへまつるに巾帷

巾 巾 巾 巾 巾 巾 巾 巾 巾 巾 巾 巾

の礼をとること帷はとばりとしるされ

いらう帷のことをいふ房はへやをいふ

耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳

紈扇圓潔 の国の紈素とは

いとしろきこと

垣 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳

膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳

女婦婦の班婕妤とは

をとべてあ

ゆいの大唐の

ちをとて

具 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳 膳

老少異粮

銀燭煙煌 燈燭ハ焰のひろがり 畫眠

登飯 飯 飯

妾御績紡

そついにらびうへとはるらつ家のまへに一の池水あるて傳ひの水く因し毎日毎をせらくる教化婦みまるとつくりて始よりまるくん

悅豫且康 悅ハよろこぶ豫ハあらかじめ且ハかつ康ハやすし

故鼓故韆故有 蒼蒼書帽

もろこしをバつふうり 嫡後詞續 嫡ハ長子 後ハ次

孤老貴爺 蒼蒼書帽 蒼蒼ハ老人の形容 書帽ハ書生

毋のわとしをさとうけつぐ 續ハわ續てこうぬこてろん 祭祀蒸

嘗少曾少わ 黽黽黽黽 實黽黽實 黽黽

嘗ハ曾に同じ 少ハすこしとよむこと多くハ少をしとよむ

糧糧糧糧糧糧 妾高高高高 高妾高高 御

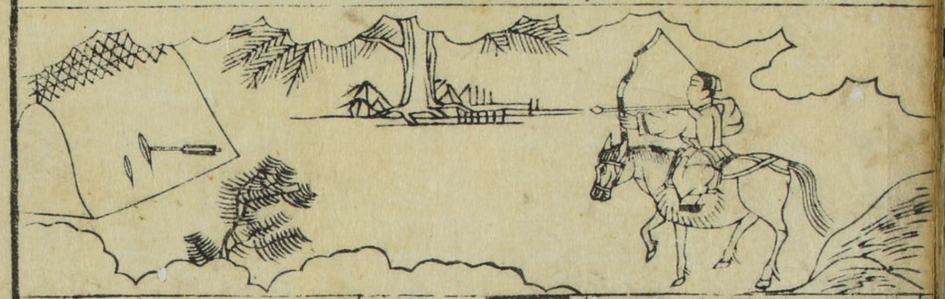
畫眠夕寐

稽顙再拜悚懼恐怕

御御御御御 續續續續績績績 紡紡紡紡紡

稽顙ハうしろ髪につそちぐとろこ〻〻〻

犢
驢
藍笋
紙歌酒醸
散坐想浴執熱願涼
扇扇
漫漫銀鎰銀鎰銀紙燭燭
特駿躍超驤
燭燭燁燁燁燁煌煌
誅斬賊盗捕獲叛亡
布射遼尤
眞眞
夕夕
蘭簫
嚴嚴
蘭蘭蘭蘭
筍筍
象象象象象象
琳琳琴琴琴琴
歌歌



琴阮嘯 琴の稽古をする人はこれを弾ずべし

酒酒 酒盃 酒瓶 酒樽 酒瓶

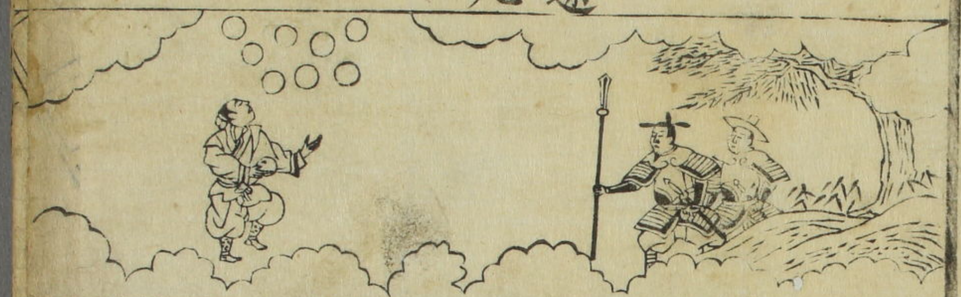
蕪蕪 蕪菁 蕪菁 蕪菁 蕪菁 蕪菁 蕪菁 蕪菁 蕪菁 蕪菁

筆倫紙 秦の蒙恬兎毛を以て筆を作る 漢の蔡倫紙を作る

梅梅 梅盃 梅瓶 梅樽 梅枝

釣巧任釣 馬鈎 釣竿 釣糸 釣針

舉舉 舉鍋 舉鍋 舉鍋 舉鍋



釋紛利俗 莊皆住妙

塊手 手 手 手 手 手 手 手 手 手

頑頑 頑酒 頑頑 頑頑 頑頑 頑頑 頑頑 頑頑

教足 足 足 足 足 足 足 足 足 足

豫豫 豫豫 豫豫 豫豫 豫豫 豫豫 豫豫 豫豫 豫豫

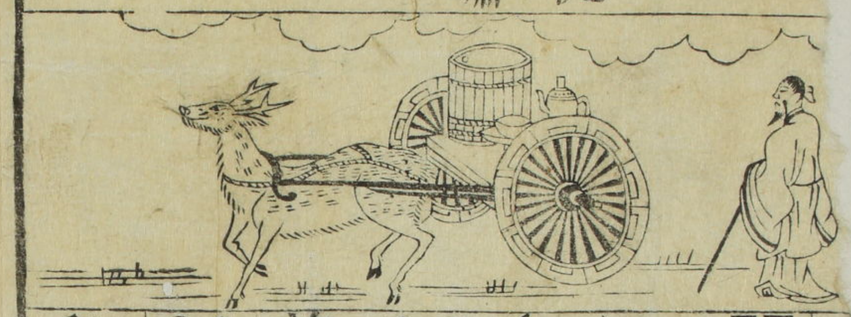
且且 且且 且且 且且 且且 且且 且且 且且 且且

康康 康酒 康康 康康 康康 康康 康康 康康 康康

後後 後後 後後 後後 後後 後後 後後 後後 後後

桐桐 桐桐 桐桐 桐桐 桐桐 桐桐 桐桐 桐桐 桐桐

阮嘯



牟汸汝 施八面旋風四の義人

嗣 續 續續續續 祭 祠 闘 祭

工 頻 妍 咲 エハらくるう 蛾八日

祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀 祀

蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸

蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸 蒸

稽 稽 稽 稽 稽 稽 稽 稽 稽 稽 稽 稽

類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 再 再 再 再

筆恬

倫紙

牟 矢 毎 催 矧八篇このこころハ月白ひとやうに

再 再

拜 拜

拜 拜

ちとざさうちとハそとうつくしうつくしうつくし

釣巧

璇璣懸斡 璇ハ美玉なり璇璣玉衡どゆして王者天文

簡要 [illegible]

顧盼 [illegible]

[illegible]

晦魄環照 晦ハ月の三十日なり

[illegible]

[illegible]

指薪脩祐永綏吉邵

想顥想想 浴隰顥谷浴 翹翹

[illegible]

執熱 熱熱 [illegible] 願願願

矩步引領俯仰廊廟

[illegible] 涼涼涼涼 驢驢驢

[illegible] 驢驢驢驢 [illegible]

任釣

任釣 任釣ハ公ハ[illegible]

毛吒

西施

束帶衿莊徘徊瞻眺

犢犢特特犗犗駫駫

人の衣帯つゝしとのくろくしてそのかゝりそのが

騭騭躍躍踔踔超超超超

に威ゞとのかゝりそのゆくにつゝるゝくて

もこれどこのぞんでハゝるゝぞもゝゝく徘

超超驤驤驤驤讓讓誅誅

徊ハゝらゝゝとゝゝゝ

阮 嘯 恬

筆 倫 紙

鈞 巧 任

釣 釋 紛 利

俗 並

皆 佳 妙

毛 施 淑

姿 工 顰

妍 笑

年 矢

每 催 曦

暉 朗 耀

璇 璣

懸 斡 晦 魄

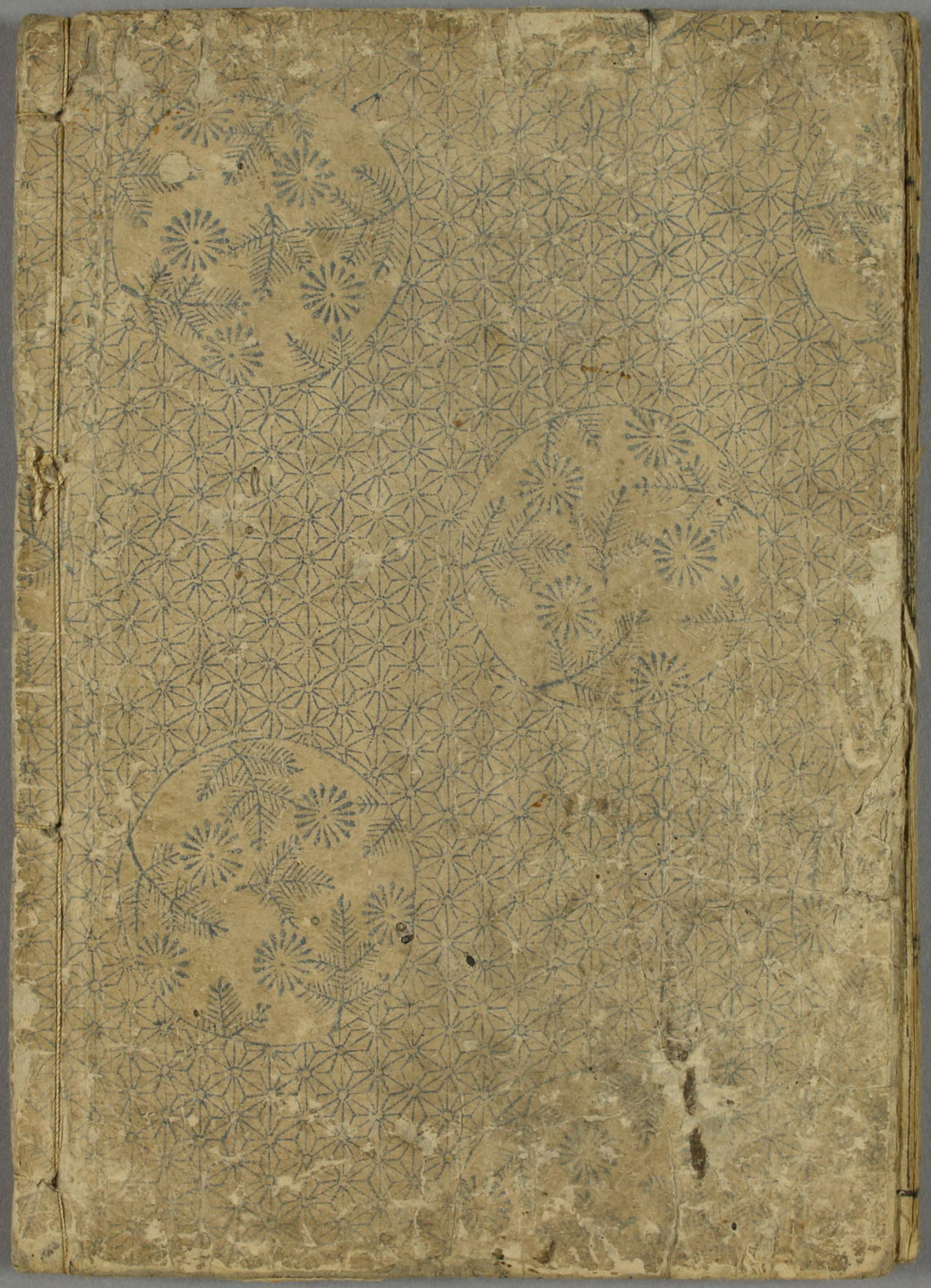
環 照 指

薪 修

1697

千字文繪抄下終

元禄拾歲　　水田重兵衛

　　小松屋勘兵衛

　　也正月吉日